

平成26年新春産学官交流会



平会長 挨拶

平成26年1月24日に平成26年新春講演会・産学官交流会を開催しました。

会長挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。今日は長崎県産業労働部 山田部長様から我々にとって新年にふさわしく、やる気の出るご講演を頂きました。長崎県情報産業協会は現在会員企業が74社です。昨年新しく加入して頂いた企業もあります。その中から今日は第一印刷様、フロンティア・ホールディング様の新しい取組みや人材確保・維持といったことについて、我々が関わるITの様々な側面を再チェックできるような良い話を聞かせて頂きました。さて、昨年から今年にかけての地元経済の状況や展望について、ある調査機関のレポートの中でハウステンボスの集客力の高まりや、長崎の夜景が世界新三大夜景に選定された事などにより人の流入が活発になってきており、今後も非製造業が長崎の経済を牽引していくようなことが述べられていました。年頭の各界では、今年は午年でもありますので、ペガサスのように、あるいは駿馬の如くとかの表現でのコメントが目立ちます。是非、この長崎が非製造業、製造業共に明るく羽ばたいていく年になっていけば良いと思います。昨年の10月にはパリの凱旋門賞では、日本を代表するオルフェーヴルという馬が2着に入りました。更には4着にも日本から出場した馬が入りました。馬も世界のトップレベルでがんばっています。我々もこれにあやかりたいものです。今日の講演会の海洋特区の話は、長崎の産業について長期的な展望を考えさせられる良い機会だったと思います。NISA としましては、県および地域連携という形で製造業に携わっておられる長崎工業会様と長崎県ICT推進連絡会議を、

昨年立ち上げて地域の情報化あるいは地域企業のIT活用の推進に役立つように取り組んでいます。このような事を県全体で推進できればと思います。本日は誠にありがとうございました。



宇戸専務理事



橋口課長



高比良部長



田中所長

(公財)長崎県産業振興財団 宇戸専務理事様、長崎県情報政策課 橋口課長様、長崎市商工部 高比良部長様、長崎総合科学大学 新技術創成研究所 田中所長様にご挨拶を頂きました。

「我が社の一押し」



川原氏



中村氏

■第一印刷株式会社

発表者:常務取締役 川原 健司様

「市場の劇的な変化に柔軟に対応する印刷会社を目指して」というテーマでアナログからデジタルへの移行を通じて継承すべき思いや新しい技術への取組みを説明されました。

■株式会社フロンティア・ホールディングス

発表者:統括本部長 中村 幹広様

「人材の採用及び有期労働者に対する助成金の紹介」というテーマで求職者訓練事業の現状や雇用対策、社員教育に関する助成金の説明をされました。

「講演会」



長崎県産業労働部 山田部長

講演テーマ：「長崎海洋・環境産業拠点特区と県の取組みについて」

長崎県のポテンシャルについて、(1)海洋国家日本をリードする海洋県であること、(2)洋上風力発電や潮流発電が期待できること、(3)造船業は全国2位であることを活用し、県民所得向上に向けあらゆる方策を展開していく考えを説明されました。そのために①ながさき海洋・環境産業拠点特区で産業振興と環境保全・省エネ、エネルギー供給という課題の解決に貢献すること、②ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクトで環境に配慮した次世代の高付加価値船・省エネ船の受注拡大や海洋関連産業の拠点形成により地域発展に貢献すること、③世界で一番ビジネスがしやすい「海洋再生エネルギー産業国家戦略特区」で浮体式洋上風力発電を世界で初めて商業化することを目指すということでした。

—広報委員会より—

1. 国家戦略特別区域及び区域方針について

平成26年5月1日現在では、九州で認定を受けたのは次の2つです。

(1)福岡市「雇用条件の明確化などの雇用改革等を通じ国内外から人と企業を呼び込み、起業や新規事業の創出等を促進することにより、社会経済情勢の変化に対応した産業の新陳代謝を促し、産業の国際競争力の強化を図るとともに、更なる雇用の拡大を図る」、(2)沖縄県「世界水準の観光リゾート地を整備し、ダイビング、空手等の地域の強みを活かした観光ビジネスを振興するとともに、沖縄科学技術大学院大学を中心とした国際的なイノベーション拠点の形成を図ることにより、新たなビジネスモデルを創出し、外国人観光客等の飛躍的な増大を図る」。

共通する点は、外国人を呼び込むということです。起業、観光、医療等のアプローチがされていくようです。

2. 外国人留学生について

最近、ベトナム人留学生を求めて日本の学校がベトナムへ訪問する機会が増えています。長崎でも数百名の留学生がいて更に増加する傾向にあります。典型的なパターンとしては1～2年目は語学、それ以降は専門学校、大学等への進学や就職ですが、多くは語学留学を終えて帰国するようです。ITの勉強をしてNISA企業に就職する人は出てくるのでしょうか？ちなみにベトナム国内のベトナム人IT技術者は大卒初任給が200～300USD程です。

3. 成長の可能性抜群のインドIT事情

デリーで確認した情報ではIT技術者は多いが都心部と100kmくらい離れた地域ではコストに大きな差があります。業務委託を考えるなら郊外の企業が良いと思います。インドとの取引についての課題は契約です。事前に細かい所まで契約書に記載しないと、思った結果を得られない事が多いようです。また経験豊富な仲介者を利用するとか、社員を駐在させる事も重要なようです。日本人駐在員の悩みはストレス解消する場所が少ない事だそうです。最近、日本食レストランは少しずつ増えていますがカラオケはまだまだです。

平成25年度研修スケジュール

平成26年度の研修スケジュールは次の通りです。詳細はNISA ホームページ「研修事業」をご覧くださいませようお願いします。

・ネットワーク設計と構築	5/14・15・16
・ソフトウェア開発に必須のSQL技術	5/28・29・30
・データベースの基礎技術	6/11・12・13
・現場力養成！若手社員の仕事術	6/18・19・20
・プロジェクト計画と見積り	7/2・3・4
・HTML5・CSS3、jQuery Mobil 入門 ①5/10・11 ②17・18	
・開発者のための必須のネットワーク技術	7/30・31、8/1
・プロジェクト活動向上のためのヒューマンスキル実践	8/6・7・8
・プロジェクトの実行マネジメント	8/20・21・22
・HTML5 実践レベルアップ	8/26・27・28
・プロジェクトマネジメントの技法	9/3・4・5
・JavaによるWebアプリケーション開発	9/10・11・12
・VB.NETによるWebアプリケーション開発	9/17・18・19
・業務分析設計概説	10/1・2・3
・Androidアプリ開発入門・中級編 ①10/9・10 ②16・17	
・スマートフォン向け開発のアプリケーション開発技術	10/29・30・31
・業務分析・設計の業務モデリング実践トレーニング	11/5・6・7
・システム開発におけるレビュー技法	11/12・13・14
・クラウドサービスコーディネータ育成と仮想化技術講座	11/19・20・21
・Windows Server 2012 の管理	12/3・4・5
・アジャイル開発の実践演習	1/14・15・16
・ヒトを動かす提案書・企画書作成の図解手法	2/4・5・6

発行元：一般社団法人 長崎県情報産業協会
〒850-0032 長崎市興善町 4-6-701
電話：095-824-0332

発行責任者：会長 平 敏孝
発行日：平成26年05月28日 第1版

(文責：総務広報委員会 梁瀬理事)